

## コーチング学専攻専門科目

| 科目番号    | 科目名          | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員   | 授業概要   | 備考          |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|--|-------------|
| 02ER001 | コーチング学研究法Ⅰ   | 1    | 1.0 | 1      | 秋AB  | 月5  |    | 浅井 武, 尾縣 貢, 香田 郡秀, 佐野 淳, 中川 昭, 長谷川 聖修, 村田 芳子, 山田 幸雄, 川村 卓, 中山 雅雄 | 近年、研究者には、論文を作成する能力とともに、研究倫理審査申請、競争的研究資金・助成金公募申請など、研究活動をマネジメントする能力が求められてきている。本科目では、これらの要請に応えるために、コーチング学における研究方法について学習するとともに、研究マネジメント力の開発を目指す。それらを通して、自立した研究者として活動していくための資質を養成する。  |             |
| 02ER002 | コーチング学研究法Ⅱ   | 2    | 1.0 | 2      | 通年   | 随時  |    | コーチング学研究分野研究指導担当教員   | コーチング学に関する実務能力と高度研究能力を兼ね備えた実務型博士の養成を目指し、学生が自立して高度研究活動を実践するために、具体的なテーマに基づいた研究計画について各アドバイザー・コミティの指導のもとで学習する。   |             |
| 02ER003 | コーチング学研究法Ⅲ   | 1    | 1.0 | 2      |      |     |    |  | コーチング学分野の博士論文の特徴、構成の仕方、研究方法、結果のまとめ方、考察の手順、結論、引用の方法と文献一覧の作成などを概説し、博士論文作成に当たって留意すべき事項を学習させる。さらに、高等教育機関における研究活動について理解を深める。  | 2015年度開講せず。 |
| 02ER004 | コーチングの哲学と倫理  | 1    | 1.0 | 1      | 春AB  | 月5  |    | 浅井 武, 関子 浩二, 深澤 浩洋, 齋藤 健司, 向井 直樹, 土屋 裕睦, 勝田 隆, 浅川 伸              | コーチの仕事と求められる資質および能力を理解するとともに、コーチング実践の根幹となる哲学と倫理について学習し、これからの時代にふさわしいコーチングを創造していく能力を養成する。また、授業を通してコーチングに関する哲学および倫理について深く論考し、それらを報告し議論させることをとおして、コーチとしての自らの倫理感や哲学感、視座を明確にする。<br>授業の目的および到達目標：自らのコーチングを省察し、新しい時代にふさわしいコーチングを創造できる能力を身に付けさせ、国際的に活躍するコーチ、社会のリーダー的存在となるコーチ、コーチを教育できるコーチング系の大学教員の育成を目指す。                    |             |
| 02ER005 | コーチング学事例研究方法 | 1    | 1.0 | 1      | 春AB  | 月6  |    | 浅井 武, 渡辺 良夫, 會田 宏, 関子 浩二   | コーチングにおける実践力の構造を理解し、受講生自らのコーチング実践を事例研究としてまとめる方法を学習する。具体的には、コーチング実践における記録の取り方、必要なデータの抽出方法、競技力(あるいは技能、記録など)を向上させる過程を記述する方法を身につけ、異なる専門種目の受講生が読んでも体験を共有できる「ケースレポート」として提示する方法を学習する。さらに、受講生による実践事例の報告とそれに対するグループ討論を通して、コーチング実践力の向上を図る。授業の目的および到達目標：コーチング実践に関する個別事例の報告、解釈を通して、合理的なコーチングを構築する実践力を向上させると共に、事例研究を推進する研究力を養成する。 |             |